

## 日本福祉大と協定締結

瀬戸北総合高 福祉教育で連携



瀬戸北総合高校の平川校長(左)と日本福祉大学の原田正樹学長

瀬戸北総合高校は日本福祉大学と「高大連携協定」を締結し、先ごろ調印式を行いました。今後、福祉教育の相互支援や、教員、学生・生徒の交流などを推進していきます。

同校は福祉教育を進める中で、同大の協力のもと、出張講義や訪問ガイダンスなどを行ってきました。新たに連携協定を結ぶことで、教職員の相互交流による教育活動の拡充のほか、生徒が専門的な学問分野に触れられる環境を整え、大学教育への円滑な接続を図ります。

平川竜也校長は「本校では、自ら課題を見つけ、解決に向かってチャレンジできる人材を育む『アントレプレナーシップ教育』に力を入れています。日本福祉大学は優れた人材を多く輩出されている

ので、これからも協力し合っていけたら」と話していました。